

新風

平成28年 3月25日
多治見市立陶都中学校
No.13

嬉しき知らせを胸に、

来年度へいざ！

多治見市立陶都中学校 松山 央

春分の日が過ぎ、桜の開花宣言があちこちで聞かれるようになりました。その中で、今後の陶都中にとって励みとなるような嬉しい知らせが、この3月中に学校に届きました。以下、紹介させていただきます。

○「多治見市教育長賞詞」陶都中学校野球部

・野球部は、クラブでも部活でも「礼儀と感謝」を大切にし、それを清掃活動という形でも表している。対外試合に際し、勝っても負けてもメンバーが率先してグラウンド整備はもちろん、使用したベンチやトイレ等の掃除を続けている。トイレ掃除のデッキブラシは、こちらから持参するほどの徹底ぶりであり、この活動には、審判団や他チームの方からもお褒めの言葉をいただいている。

○「多治見市教育長賞詞」陶都中学校吹奏楽部

・吹奏楽部は、各種大会やコンクールへの出場だけではなく、まちづくり市民会議、地域児童館、地域企業等の催しに際し、積極的に参加しボランティア演奏を実施している。毎回、部員たち同士で主催者や参加される方に合わせて、演奏内容や参加形態を工夫して出演するところから、大変好評をいただいている。5月7日(土)には、地域の方にも来ていただけるようなスプリングコンサートが企画されている。この二つの賞については、3月4日の卒業式総練習の際に、渡辺教育長さんに来校いただき、両部活の代表者に賞状を渡していただきました。地域指導者の方や保護者の皆さんの支えをいただきながら部員達の手で長く続けられてきているこれらの活動を認めていただき、さらに今後の継続をも期待されての今回の受賞。こうした形で生徒の活動に光が当てられたことを、大変嬉しく思う次第です。

○平成27年度東濃地区「体力優良校」陶都中学校

この賞は、毎年小・中学校において、児童生徒の体力向上を図るため新体力テストの結果を積極的に活用し、児童生徒の実態に応じた体力づくりに取り組み、成果を収めている学校を表彰すると定められており、今年度は、東濃地区で脇之島小学校と本校の2校が表彰対象となりました。本校にあっては、毎時間の体育の授業における合理的で自主的な準備運動や学習形態・学習教材の工夫が大きく評価されました。また、学級活動や体育的行事における大縄跳びやクラスリレーなどの取り組み等、日頃の諸活動が総じて体力向上につながったということでの表彰でした。

私はこの賞の知らせを聞き、こうした普段の本校の教育活動を認めていただいたことの喜びと共に頭に浮かんだのは、毎朝校舎内外で繰り広げられる朝の自主活動の様子でした。短い時間の活動ですが、それぞれの部活が所狭しと動き回る早朝の活気あふれる様子は、陶都の底力の一因と自負しています。それらも含めての賞と思うと、喜びもひとしおでした。

こうした賞をいただいたことが、来年度に向けての学校の原動力の一つになればと考えます。

なお、来年度と言えば、その準備については、これまでの「保護者アンケート」や「学校内(自己)評価」の集計結果、そして評議員会でのご意見などを参考に、進めてきました。その中で、本校の教育課程について以下のような基本路線を見出しました。以下、簡単に触れさせていただきます。

○現在の陶都中の様子を見つめ、「これまでの陶都中」にとって必要であり、「よい」ということで仕組んできた行事や活動を、「これからの陶都中」にとっては、という視点で大きく見直していく時期にきている。また、立て続けに仕組まれた行事や諸活動にあっては、出来る限り精選整理し、生徒自身がじっくり自分のことを見つめたり、基礎学力の定着に向かって取り組んだりする時間的確保も必要である。

○不登校対策は本校にとって大きな課題であり、その為にも生徒一人一人の居場所である学級の経営には今まで以上に力を注がなければならない。

○以上のことを踏まえ、「学校生活と学習の基盤である『学級』の経営に力を注ぐ」を基本路線として。次の改革を行っていく。

- (1) 「体育祭」の種目から「応援合戦」を無くし、学級対抗種目に絞る。
来年度からの各学年オール6クラスを機に、縦割り6団対抗を想定し、4月当初より生徒の縦割り意識を育てていく。
- (2) 「合唱祭」は引き続きバロー文化ホールで開催する。但し、当日午前中の時間割については、授業を確実に組み込むなどして改善していく。
- (3) 2年生の「職場体験学習」を夏休みに開催する。
2年生の宿泊研修は、5/26～27であり、その後の1ヵ月半を準備期間に当てる。
- (4) 12月を「じっくり・しっとり期間(仮称)」として、三者懇談会と合わせて学級を振り返ったり、基礎学力定着に意を注いだりする。

以上のことについては、本日の修了式にも子ども達に話をしました。これまでの自分たちの取り組みの成果を踏まえつつ、「これからの陶中」にとって必要な手立てという視点で、学校行事等のモデルチェンジを思い切って行っていこうと訴えました。その担い手はもちろん君たちであると。

こうして、来年度に思いを馳せながら、平成27年度も無事に終えようとしています。
保護者の皆様方並びに地域の皆様方、これまでのご支援ご協力、誠にありがとうございました。来年度も本校をどうかよろしく願いいたします。

平成28年度 前期 生徒会執行部のみなさんです。

※氏名については、ホームページ上では非公開とさせていただきます。

平成28年度 前期 生徒会委員長のみなさんです。

※氏名については、ホームページ上では非公開とさせていただきます。

読書でつなぐ親子（家族）の話し合い

多治見市教育委員会

本市の小6の73%、中3の66%が「読書が好き、または、どちらかといえば好き」と答えています。また、小6の37%、中3は50%が、学校の授業時間以外に、普段（月～金）1日当たり読書を「10分より少ない、または、全くしない」と答えています。（H27 全国学力・学習状況調査より）読書は好きだけど、なかなか読む時間が無いのでしょうか。

読書は、物事を深く考える習慣を身に付け、想像力を高め、豊かな感性や、思いやりの心はぐくみます。小学生は「読み聞かせ」や「家族読書」を好み、それが後の読書習慣にもつながります。中学生は「一人読書」とともに「新聞」を読むことも良いでしょう。これからも、家庭環境の中でも、「読書に親しむ」習慣づくりを大切にしましょう。親子（家族）で話し合う時の話題にしてみてください。4月23日は「子ども読書の日」です。

